


国史跡中里貝塚 保存活用計画策定委員会 かわら版 【創刊号】

中里貝塚の保存・活用・整備に向けた具体的な方向性を話し合う委員会が発足し、計画策定事業が進行中です！

本かわら版は、委員会で話し合われた内容等を昭和町地区自治会連合会管内の皆様にお知らせするため発行するものです。

平成30年1月19日に第1回委員会が開催され、これまでに合計4回の委員会が行われました。国の史跡である“中里貝塚”について、どのような遺跡で、どんな価値があるのか、地域代表の区民の皆さまと専門家、関係団体が一緒になって検討を進めています。また、史跡の保存活用に関する将来像や整備についても、本委員会で協議し、計画書として取りまとめていきます。計画策定事業は、平成31年度末（2020年3月）までを予定しています。

中里貝塚とは…国内最大規模の貝層を有する、縄文時代の“水産加工場”です。マガキとハマグリ
の干貝加工に伴い廃棄された貝殻が、最大4.5mの厚さで堆積し、貝類の剥き身処理に関わる遺構なども発見されている貴重な遺跡です。

【これまでの経過】※第1～4回の概要は、北区飛鳥山博物館のホームページにて公開しています。

第1回委員会（平成30年1月19日）

主な議題

- ・委員長、副委員長の選任
（委員長に阿部芳郎氏〔明治大学〕、副委員長に石川日出志氏〔明治大学〕を選任）
- ・計画策定の目的
- ・史跡の『総括報告書』の執筆について
- ・史跡の現状と課題

第2回委員会（平成30年3月9日）

主な議題

- ・史跡の現状と課題
- ・史跡の構成要素
- ◇その他
 - ・現地視察
（中里貝塚史跡広場ほか）



第3回委員会（平成30年5月11日）

主な議題

- ・史跡の構成要素と地区区分
- ・保存活用の基本方針
- ◇その他
 - ・史跡の『総括報告書』の刊行について

第4回委員会（平成30年7月20日）

主な議題

- ・策定スケジュールの変更について
- ・史跡の本質的価値の再検討
- ◇その他
 - ・史跡周辺の地形模型の製作について

●本委員会は、傍聴いただけます。くわしくは、事務局（北区飛鳥山博物館）までお問い合わせください。

＜保存活用計画とは＞

国指定の文化財等について、保存活用の考え方を明確化し、必要な諸手続などを整理して、文化財等の確実な継承を図るために作成する計画です。

お問い合わせ（事務局）

北区飛鳥山博物館

TEL：03-3916-1133
<http://www.city.kita.tokyo.jp/hakubutsukan/>
平成30年9月末発行

